

百道浜校区自治連合会 7月臨時総会議事録

日時 平成16年7月8日(木) 19:45～22:10
場所 百道浜公民館地域団体室
出席者 委員16名+オブザーバー1名

議題1：早良区地区自治組織連絡協議会への参加などについて

(1) 早良区地区自治組織連絡協議会への参加について

別紙(福岡市早良区地区自治組織連絡協議会規約)のとおり、早良区内の自治協議会(自治連合会)の代表者をもって組織する協議会に参加するにあたり、年会費として年額20,000円を納入する必要がある。百道浜自治連合会会費から支出することについて、全会一致で承認した。

(2) 自治協議会(自治連合会)代表者と市との連絡経費について

区役所や市が開催する情報交換や協議を行う会議等に出席した場合は、一人につき1回2,000円の交通費等の実費相当額が支払われる。これについて、当自治連合会から出席した者が、受け取ることを確認した。

議題2：各委員会の活動について

(1) 自治連合会会計から

各委員会への補助金払い込みのため、団体名で郵便局に口座開設をお願いする。

(2) 交通安全委員会の事業計画について

交通安全推進委員会会長川口氏から、別紙の事業計画書・予算書にもとづき、事業項目ごとに活動内容が説明され、全会一致で承認した。

(3) ふれあいサロン委員会の事業計画について

委員会代表阪井氏から、別紙の事業計画書・予算書にもとづき、事業項目ごとに活動内容の説明があった。ふれあいサロンは、区社会福祉協議会からの補助金も合わせて受けて実施するが、補助対象の内容は分けており、社会福祉協議会とも協議済みである。

(4) むつみ会の事業計画について

老人クラブ会長代行堤氏から別紙の事業計画書・予算書にもとづき、事業項目ごとに活動内容の説明があった。高齢化社会であり、もっと自治連合会から活動費を出していいのではないかと
の意見や参加者が増えるように積極的に呼びかけをしてはとの意見があった。

事業内容については全会一致で承認した。

* 収支計画書の記載については、補助金の内容の用途が分かるように記載する。それが全体事業の一部である場合は、全体事業の内訳を添付資料とする。

議題3：百道浜夏まつりについて

尾形実行委員長が所用で欠席のため、久恒自治連合副会長から、花火について以下の状況説明があった。

7日(水)に、県商工事務所から西警察署の承諾がでないため、花火の許可ができない旨の回答が尾形実行委員長にあった。実行委員会としては、花火が出来ない状況(中止)となったため、今後の取り組みかたは、皆さんに任せるとのことであった。

これを受けての各委員の意見の概要は、以下のとおりである。

【意見の概要】

みんなが萎えてきている。まつり全体も止めた方がいい。

実行委員会の内部がまとまっていない。あと10日でもイベントはできるが、今から地域に浸透できるか、地域の皆さんの気持ちがまつりに向かうかが問題だ。

今年の失敗の反省をしないと、次に踏み出せない。1年前位から準備をしてやらないといけな

いのではないだろうか。

小中学生も楽しみにしているのは事実だ。

美容院のチラシにも花火に合わせた髪結いの予約が載っている。花火中止について、これまでお世話になった地域の方々に早く説明する必要がある。地域との信頼関係が壊れるのが一番怖い。

朝日新聞の記事については、会長の了解無しに行ったことと思うが、あの内容からすると、地域がマスコミを動かしたと思われる。このことは大きな問題であり、百道浜が疑われることであり、今後の自治会運営に支障をきたす。

花火中止は早く伝えることが一番だ。連合会として断りいくところもあるのでリストを見せて欲しい。

新聞にもPTA関係者という表現になっているように、全て実行委員会が一人歩きした。子供たちが期待していることでもあるし、これからでも広報をしっかりと出来る範囲で18日にやった方がいい。

実行委員の一人として、延ばすのであれば実行委員会は解散することになるだろう。ハッピータイムなどは元々実行委員会では考えてなかった。

実行委員会がまとまっていなかった。責任者をしっかりと決めて連携してやらないとまた同じことになる。

18日はおやじの会で地引き綱や小学校グラウンドでバーベキューを行うので、子供たちはそれなりに満足するだろう。

以上の意見交換の後、18日に花火なしで夏まつりを予定どおり行うかどうかについて、採決を行った結果、全会一致で実施を見送ることとした。

今後について、以下のような意見があった。

夏まつりをどういう位置づけで行うかが肝心で、地域の人たちが共同社会、コミュニティをつくるために行うなど、「祭」の意味をもう一度、考えて欲しい。盆おどりでもいい、魂を交歓することが大事だ。次の世代に繋げていくためにも、今年は意見を出し合う年でもいいと思う。公民館も、ステージの参加者を募ったが、急だったので、中止でほっとしている。秋の文化祭のときに、緑道でも、まつりのリハーサルとしてバーベキューなどをしてもいいのではないか。

今年は50年に一度の福岡国民文化祭の年である。今年になんとか合わせてやれば、スタートの記念となるのでは。

各委員の意見を踏まえ、山下自治連合会長から、以下の見解が示された。

花火が先行して、夏まつりが乗った形で動いてきた。これまでのことを一つの経験として活かして、身の丈に合った祭を考えていく必要がある。校区自治連合会として、これを活かして今後、役割分担して取り組んでいきたい。8月の定例総会には、何か今後のことを出していきたいと考えている。

実行委員会が一番残念に思っている。断りの文面も早急に準備し、関係者への断りはそれぞれで動く。

各自治会への夏まつり中止の広報を、自治連合会名で早急に作成し配布する。

ある委員から中止の広報にあたっては、関係者(具体例的)の緊張関係たかめるような広報をすべきでないとの提案があり全会一致で了承された。

これまでに要した申請料の経費は、連合会の経費から支払うことを了承し、閉会とした。

以上